

# 「鹿児島県産食材を世界へ発信！」

当協会では、本県産食品の海外市場展開を支援するため、鹿児島県や関係団体等と連携し、アジアや欧米等の流通関係者を招聘し、平成29年7月26日～28日に「うんまか鹿児島輸出商談会2017」および产地視察を実施しました。

## 熱のこもつた商談会

県内の県産農水産物、畜産物、加工食品、酒類、調味料等を取り扱う食品企業83社が、11カ国・地域（中国、香港、台湾、シンガポール、タイ、ドバイ、フランス、米国、オーストラリア、イギリス、ブラジル）の流通企業21社と海外輸出商社等8社、計29社のバイヤー等と商談会に臨んだ。

午前中は、バイヤーが企業のブースをまわり試飲・試食や商品について意見交換をする自由商談、午後は、バイヤーと出展企業が個別に商談する場を設けた。

参加したバイヤーからは

「農産物や農産加工品など自社が得意でない分野の商品も一堂に見ることができ非常によかつた。」などの声が聞かれ、参加企業からは「自由商談と個別商談の時間がありよかつた。」「新たな国・地域の市場動向、食文化など直接バイヤーから聞く機会が持てよかつた。」「などの声があるなど、効果的な海外販路開拓拡大の機会となつた。

また、国別状況としては、台湾では、今年度、日本産牛肉の輸入解禁の見込みがあることから、鹿児島県産の牛

肉を取り扱いたいとのことで輸出に向けた具体的な商談が行われた。タイのバイヤーは有機豚肉やさつま揚げ等の企業等と商談、シンガポールのバイヤーは、ハラル向け、ベジタリアンが好む商品、かつお節関連商品や緑茶・桑茶などへの関心が高かつた。中国に関しては、菓子や水産加工品等に興味をもたれるなど、各国の市場動向等を反映した商談が行われた。北米のバイヤーからは「良い商品が多いのでIACCP対応なども含めて品質管理のレベルをさら

に上げつていいと欲しい。」といった要望があった。

## 产地視察と交流

### 商談会に伴い出展企業の

商品の製造工程など安心・安全な商品の供給現場や環境を見てもらうため产地視察も行つた。参加者からは「製造工程を視察することで、商品についてより理解を深める事ができた。衛生管理体制について確認することができた。」などの声が聞かれ、本県の豊かな風土や食文化に触れ、鹿児島の魅力を体感してもらうことで特産品だけでなく、鹿児島全体の良いPRになつた。

当協会では、今後も鹿児島県産品の更なる海外販路拡大やPRに取り組むので、関心のある方は、当協会流通企画課へご相談ください。

4

# 販売の決め手は商材の分析・魅力発信にあり！

平成29年7月4日（火）に県内の特産品製造企業等4社69名が参加し、内田氏、馬渕氏、坂本氏の3名の鹿児島県特産品コーディネーターによる「第1回きらり輝け！モノづくりセミナー」を開催した。

**内田 勝規 氏**（株オフィス内田代表取締役会長）

演題

## 「他の地域と比べた鹿児島の可能性と課題」

- ・消費者の記憶に残るモノづくりでリピーターをつくる。
- ・どんなに邊鄙（へんぴ）なところでも「目的地」になることができる。「地元でしか味わえないもの」「今だけ、ここだけ、あなただけ」という不便さが付

・別業態だが同じマーケットの製造者と手を組む「クロスマーケット」を検討したらどうか。

・他県に比べて鹿児島県は各種支援体制が整っているので、それらを活用して商品開発・販路拡大に取り組むことが重要。

**坂本 貴弘 氏**（株ふじやま学校代表取締役会長）

演題

「最新マーケティングからみた地域物産振興の流れと鹿児島の価値」

・近年の消費動向は価格や品質よりも商品にまつわる表現力やスピードが販売の決め手となる時代に入っている。

・売れる伝え方（表現力）を磨くことでコストをあまり掛けず

・地域特産品は、一般商品に比べて地域の特色、歴史などのストーリーが作りやすい。キヤツチ「ピー」の作成や反応分析で得られた『気付き』を商品開発や広報活動に活かすことなどが重要。

鹿児島には色々な良いものがあるが、それを充分にPRできていない。声を大にしてアピールすることが大事である。また、ホームページやネット



分科会の様子

・参加者からは、「分科会形式の研修は目的が絞られて実践的な内容を学ぶことができた」「今回のセミナーで学んだことをさっそく商品開発に活かしていきたい」などの声が多く聞かれ、有意義な研修会となつた。

## 鹿児島県特産品ブランド・コーディネーターを設置！

当協会では、多様化する消費者ニーズに対応した「売れるモノづくり」を支援することを目的に上記でご紹介した3名の他に丸山憲徳（まるやまかずのり）氏（広島福屋百貨店、大丸松坂屋百貨店等フードアドバイザー）、上松幸信（うえまつゆきのぶ）氏（株山形屋コンプライアンス推進部長）にコーディネーターを委嘱しました。

本年11月下旬にはブランド・コーディネーターによるセミナーを予定しておりますのでご期待ください。